

令和6年度

第17回邑南町議会意見交換会

報 告 書

邑南町議会

邑南町議会では、平成19年に議会基本条例を制定しました。その第4条第3項において、「議会は、町民と意見交換の場を多様に設けなければならない。」と規定しています。

これにもとづき、平成20年から毎年、町内各公民館で議会と町民との意見交換会を開催しています。今年度の開催状況を下表に、近年の状況は次ページのとおりです。

意見交換会も第17回を迎えましたが、今回も町の施策や身近な地域の問題などについて活発に意見交換がなされました。いただいたご意見は、関係部署への確認・調査依頼、委員会での協議や一般質問など、今後の議会および議員の活動に活かしていきます。

これからもできる限りみなさんと「町の将来」「身近な地域の問題」などについてともに考え、話し合っていきたいと思っております。

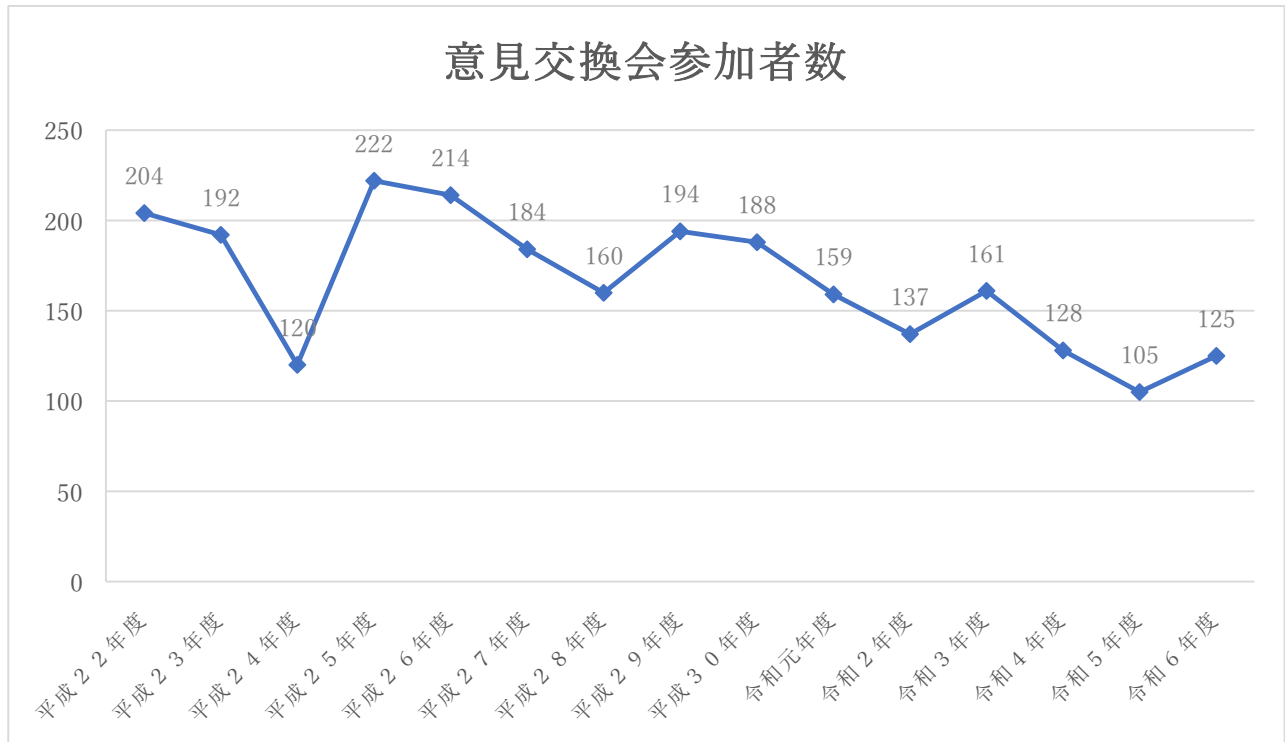
ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。

● 開催状況

第17回意見交換会出席者数

開催日	開催場所	出席者数
8月1日(木)	日和公民館	15人
8月6日(火)	阿須那公民館	6人
	田所公民館	8人
	高原公民館	11人
	市木公民館	13人
8月8日(木)	口羽公民館	11人
	出羽公民館	13人
	布施公民館	12人
	井原公民館	10人
8月21日(水)	矢上公民館	8人
	中野公民館	5人
	日貴公民館	13人

● 近年の状況 （意見交換会参加者数）



● 会場別目次

日和公民館		1 ページ
阿須那公民館	...	1 ページ
田所公民館		3 ページ
高原公民館		4 ページ
市木公民館		5 ページ
口羽公民館		6 ページ
出羽公民館		6 ページ
布施公民館		7 ページ
井原公民館		8 ページ
矢上公民館		9 ページ
中野公民館		10 ページ
日貫公民館		11 ページ

日和公民館まとめ

●食の学校について

- ・一年間放置するとは、町としても議会としてもおかしい。
- ・備品が無いことに疑問があり調査特別委員会を立ち上げていたが、結局どうだったのか。
- ・漆谷議員が一般質問でいわれたとおりで、教育委員会が所管するのはおかしい。
- ・加工品や特産物を作る施設として、広く町民が使えるようにして欲しい。
- ・小さくてもいろんなグループの方が加工品を作りたいと思っている。備品は持っていくので、今すぐにでも使わせてほしい。
(日和フレッシュ代表の方。あと、応援で5, 6人来られていました)
- ・日和に公共施設は食の学校しかない。なんとかして欲しい。
- ・食の学校はネット環境がしっかりしているので、町内各地とリモートで繋ぎ講習会をやってはどうか。
- ・早期、再開を望む。

●公衆トイレについて

- ・ヒワココが9月16日に撤退する。ここがなくなるとトイレに困る。
- ・公民館のバスケットコートを土日に利用する若者や、訪問ヘルパーさんや業者さんも、使えるトイレがなければ困る。
- ・町政座談会でも要望するのだが、町はやる気がない。

●日桜ロードについて

- ・12月末から2月いっぱいまで雪のため通行止めとなるが、困る。
- ・昔、トンネル案があったが、当時の建設課長が取りやめた経緯がある。当然除雪してもらえなかったと思うが、そうではなく残念。
- ・昔、陳情をして、天候により雪が無ければ通ってよい期間があった。自己責任でいいので、そうして欲しい。

●霧の湯再開の目処は。

●空き家について

- ・屋根が落ちそうな空き家があるが、どうにかならないか。
- ・田舎に憧れて？手に職もなく車の運転免許もない人が自分で改修すると言って空き家に引っ越してくるが、何もできず生活保護。結局出ていく。そんな人に来てもらっても仕方ない。

●ハナレザルが一頭出歩いていて、畑を荒らし困っている。

阿須那公民館まとめ

●ケーブルテレビについて

- ・世間が災害で大変な時でも、体操をしているのはどうかと思う。口羽などは出水災害も多いので、普段からピリピリしているというのに。

- ・一般質問の視聴率を調べて欲しい。
- ・運営審議会と番組編成会議は、どのように番組を決めているのか。
- 人口問題特別委員会について
 - ・どういことをやっているか。
- 議員について
 - ・議員報酬を11%上げたが、一般質問をする議員も少ない。
 - ・報酬を上げるなら責務を果たせ。
 - ・各議員が一般質問をした回数を調べて欲しい。
 - ・選挙にかかる供託金制度、15万円は高すぎて若い議員が出られない。制度を廃止すればいい。
 - ・議員にも年金制度がないと困ると思う。
 - ・議会広報おおなは、かなりレベルが高いと思う。町の広報では町の施策はわからない。議会広報を見ないとわからない。
 - ・議会規則54条で、質問は三回までとなっているが、せめて五回に変えてちゃんと話を詰めるようにするべきだ。
- 町道の整備について
 - ・ある集落の法面が常に倒木の危険にさらされているが、行政に言っても倒れてからでないと対応できないという。誰一人取り残さないと言っているのに、なんとかしてもらえないのか。政治家の力でなんとかならないか。
 - ・除雪は要望活動をして、今年の冬からやってもらえるようになったが、要望しないとやってもらえないのはおかしい。
- 食の学校について
 - ・なにが起こっているのか。
 - ・新聞にも向こう側から一方的な意見が載ったし、議会としても何らかの対応をするべきでは。
 - ・議会基本条例第4条を活用して、公聴人、参考人を呼んで本会議で意見を聞き、公に理解できるようにするべきだ。せっかくのルールを活用するべきだ。
- 除雪について
 - ・ある集落で、3名が出勤するのに除雪してもらえない。除雪する基準はどうなっているか。
 - ・建設課に言えば、自己判断で通ってもいいが、なにかあっても知りませんと言われた。
- 浜作線について
 - ・8月に通れる予定だった吉時の橋の工事が10月まで伸びて、引き続き迂回路を使うようになる。知らせが直前すぎる。
 - ・雪田だけでなく、下伏谷の迂回路も周知するべきだ。

田所公民館まとめ

- 学校統合に対する考え方は。
 - ・少子化が進むと統合は避けられない。
 - ・統合すると地域間のわだかまりが残る。
 - ・部活動が継続できないなどの問題がある。
 - ・学校統合は教育だけでなく、地域振興や行財政改善にも関連する。それぞれで課題を整理し、議論する必要がある。
 - ・いきなりの賛成反対でなく、子どもたちの将来も考えて議論が必要だ。
- 人口減対策。
 - ・行政職員の子どもたちを地元に戻すべき。
 - ・最終的には子どもの判断に任せるべきこと。我々は地元に戻ることを選択できるような環境を整える。
 - ・ふるさと教育や地区別戦略、地域学校などで地元を誇りに思う心を育てている。
 - ・子どもたちだけでなく親にも伝える必要がある。
- 瑞穂小学校の改築を急いでほしい。
- 海士町の島親制度のような取り組みはできないか。山村留学は考えられないか。
- 公営住宅の家賃
 - ・広島市の民間賃貸住宅よりも高い。安くないか。
 - ・所得に応じた家賃が定められている。
 - ・国の住宅政策(持ち家政策)の中での公営住宅の位置づけは、若年の低所得世帯向け。最終的には持ち家を奨励している。
 - ・定住や地域経済に対しても持ち家は有効。
 - ・空き家の問題もある。
- 道の駅の集客には食べ物、食事が重要。有名店舗を呼べないか。
- 公共交通。
 - ・町営バスの利用客が少ない。公共交通のあり方は。
 - ・交通弱者を見捨てることはできない。
 - ・デマンド交通、ライドシェア、タクシー助成など検討課題は多い。
- 税金を増やす。
 - ・ふるさと納税は増えないのか。
 - ・企業誘致など自主財源を増やす手立てが必要。
 - ・半導体企業などの優良企業の誘致はできないのか。
- 霧の湯の後は。
 - ・コロナ前のリニューアルはどうなったのか。
 - ・資産の見直しの観点から、売却して民間の経営ノウハウの活用を。
 - ・近隣の温泉施設の廃止が多い中、それを逆手に取った活用策を。

- ・入浴料を安くしてでも町民の活用を考えるべきだ。
- ・木質バイオマスの環境効果は認めるが、コストパフォーマンスは。
- 意見交換会について
 - ・参加者が少ない。他地域の状況は。
 - ・開催日程、時間は関係ないと思う。
 - ・政治に対する関心の低さが一番の問題だ。
- 地域の共有林が伐期を迎えている。公共施設への提供など、行政での活用など考えられないか。

高原公民館まとめ

【大型事業について】

- 道の駅関連
 - ・名称を変更する必要はあったのか。「道の駅みずほ」の名称は全国的に知られている。産直市の名称だけを変更してもよかったのではないか。
 - ・屋根の仕様については、石州瓦を使用できなかったのか。

【石見中学校について】

- 構造上、光熱費が気になる。

【いわみ温泉】

- 現在の温泉施設は、プライベートに配慮した施設に変わりつつある。霧の湯については、家族単位で利用できるスペースも必要ではないか。
- 事業に取り組む時に、合併特例債や過疎債を活用しているが、一度に事業を取り組みすぎていなかったか

【教育について】

- 中学、高校の制服について
 - ・学生服やセーラー服は、軍服を模したもので何十年も変わらないのはいかがか。私立学校は変更されるが、公立校は昔のままである。多様性を認める上でも制服の在り方を検討したほうがいいのではないか。
 - ・校舎内での上履きにつっかけを履いている。防災上不適当ではないか。
- 瑞穂中学校体育館は老朽化により雨漏りがある。バケツや雑巾を置いて対応している。修理してもらえないのか。
- 学校給食の無償化は全国に広がっている。「お金がないからできない」というのはおかしい。大型事業の影響ではないのか。
- 食の学校の活動状況はどうなっているのか。

【農業関連】

- A 級グルメ構想から地産地消推進へ方針を変えたが、具体的にどう進めているのか見えてこない。邑南町の農地を守ることは、農業を守ることになる。有機で学校給食にも活用した

い。

- 地元産の大豆を育て、豆腐づくりに協力できないか(価格保証も必要)
- 耕作放棄地が増え、カバーし切れない状況で限界だ。農家同士で話し合える情報交換の場が欲しい。
- 鹿による獣害が増えている。高さのある柵が必要になるが補助制度はないのか。

【生活交通関係】

- 乗客のいないバスの運行が気にかかる。バス運転手の高齢化により後継者も必要になる。維持費なども検討し、タクシーに切り替える必要もあるのではないかな。

【今後の邑南町に望むこと】

- 吉賀町では、休耕田に太陽光パネルを設置について条例を制定している。周囲に迷惑をかけないように邑南町も条例が必要ではないかな。
- ねこしま工場跡地の活用については町民の意見も聞くように。
- 町村合併時に、瑞穂支所、教育委員会、保健課は瑞穂地域に置くことが決められている。取り決めを勝手に変更することが無いようにしてほしい。
- 課名を変える時は、何を担当する課なのか町民にもわかるような課名であるべき

【その他】

- 議員報酬の引き上げについて
 - ・在任中の報酬引き上げではなく、令和6年度中に審議して7年度改選時からの引き上げにするべきではなかったか。4月から引き上げられたので、報酬に見合った仕事をして欲しい。
- 令和5年8月24日瑞穂ハイランド事故について。事故検証委員会から報告がされ切りがついた。責任問題は怎么样了のか。

市木公民館まとめ

- 開校150年の市木小学校の存続を願う意見。今後の統廃合について。
- 邑南町の今後の人口維持について、各議員一人ずつの対策案や考えを聞かせてほしい。
- 近隣地域との企業誘致の連携はしているのか。
- 町営住宅の入居条件について緩和できないか。家賃価格や、家賃上昇の緩和など。
- たまに帰ってくる住民の下水道の管理費や使用料は、どうなっているのか。
- 陳情、請願について説明してほしい。どちらがより効果的かなど。
- 各集落に限界がきている。対策は。
- 広報にしっかりと、この意見交換会の意見を載せてほしい。本当に反映されているのかどうか。など。
- 霧の湯を指定管理に出して、引き受ける事業者がいるか。
- 一般質問の公表については、質問事項だけでなく質問項目(内容)も公表してほしい。

口羽公民館まとめ

- 当地にあるプールは毎日 20 人位が使用している。25m プールは産業支援課、50m プールは教育委員会の所管だが、郡大会で会場として使用されるのをはじめ高原小学校や阿須那小学校も使用している。過去に屋根付き温水プールの要望を議会にも提出したが、そのままになって年月が経過している。改修を望むがどうなっているか。
- テニスコートの屋根の設置も要望書を執行部に提出しているがどうなっているのか。
- 口羽近辺はラジオの電波が入りにくい状況なので受信を良好にしてほしい。
- 地域おこし協力隊の支援(野菜出荷支援希望)を地域振興室に相談したが、羽須美振興会は協力隊支援についてデマンド交通の運行で手一杯と言われた。
- 羽須美支所と口羽公民館が連絡通路でつながったが、いつの会議で決定したのか不明で住民の意見は反映されていないと思う。通路は段差があり、歩行者が通行する際つまずき転倒の恐れもある。
- 地区には 4～5 の組織があるが地域と連動していないと思う。一部の者で何事も進めており総意での決め事ではない、経過説明もない。例えば、バスの回転場、バス停の位置の変更など訳が分からない。
- 町道の草刈りの基準は、家の 100m 以内は当家が草刈管理することだが空き家の場合はどうなるのか。やり方を考え直す時期に来ているのではないか。
- 河川(琵琶甲橋から下)の雑木撤去はどうすればいいか。
- 羽須美デマンドバスは、当日予約を採用してほしい。運転手が 30 人位登録してあると思うので可能と思うのだが。
- 甲田作木線の改良はどうなっているか。

※視察要請箇所

「2 つのプール」「整備要望のあった出羽川」「草刈り不安の意見が出た場所」

出羽公民館まとめ

- 公民館は災害時の避難場所となっているが、毛布や布団の保管状況が良くない。(枚数の問題、何年も洗濯していないなど)
 - ・地震などの災害を想定した設備の充実を急いでほしい。
 - ・食料の備蓄。消費期限の迫るものの処分についての町の規定はあるのか。
 - ・避難時の高齢者への「乾パン」支給は配慮が足らないのではないか。
 - ・避難施設としての瑞穂中学校の体育館の雨漏りを何故長期間放置しているのか。加えて、他にも修繕点が沢山あるが、今後どのように修繕して存続していくかという事に繋がるが、町として考えはあるのか。教育委員会に言っても反応が無い。議会から強く言ってほしい。
- 学校の統合等の話は、新町長に委ねられるが、地域住民の意向もあろうが議会としてもし

っかり議論をしていただきたい。

- コミュニティスクールについての考えにも言及がありました。
- 全国学力テストの成績の公表を島根県はしていない。公表して自分たちは今どの位置にいるんだという認識を持つことは必要ではないか。また、町民が学校に関心を持つことにつながるのではないか。
- 財政が厳しい中でも、学校への学習支援員、生活支援員の配置は県下でも多いのではないか。その配置の成果が町民に見えるようなことが必要。
- 太陽光発電について。
- 休耕田の問題、鳥獣被害の課題と地域の農業をサポートする組織の必要性。
- 福祉政策について。介護難民。社会福祉法人の将来的な統合整理。
- 高齢者の運転免許更新への援助。(特別講習の実施)
- ふれあい公園利用の今後の考え方。
- 公民館の今の体制(館長、主事、事務員)を維持することを確約してほしい。

布施公民館まとめ

- 農業について
 - ・高齢化していく現状をどうしていくか。布施では、1つの集落で法人化しているが高齢化している。他の集落も法人化したいがマンパワーが不足している。
 - ・地域おこし協力隊のような人でも来てもらえれば、空き家もあるし農地もあるし、布施には加工場があるので、6次化までできる環境が整っている。地域も応援するし、すぐにでも農業ができるのだから、移住者を呼んでももらいたい。
 - ・食料自給率40%を切っているのだから、待ったなしの状況だ。
 - ・町でハーブ米を薦めているが、ハーブ米はコシヒカリ限定なので、温暖化の今の時代にはそぐわないのでは。農業者に所得保障をして、農家を守り食料自給の確保をしなければならないと思う。
- 地域内交通
 - ・一人暮らしの方の生活交通の確保をしなければならないと思う。
- 空き家対策
 - ・色んな噂を見聞きするが、実際どこが空き家の情報を掌握しているのかわからない。
 - ・行政任せでは進まない。地域が一番現状が見えているのだから、地域がシステムを作ってマッチングできるようにしていかないと、解決しない。
- 教育関係
 - ・地域で子育てと言っているが、具体的にどうしていいのかわからない。
 - ・地域の技や知恵を持っている人から学び、地元で親しんでくれることで、将来ふるさとで子育てしたいと思って帰って来ると思う。
 - ・安全マニュアルが出て来て、今までやって来たこと(魚釣りイベントなど)にストップがかか

ってしまった。自然の中で体を使って遊ぶ体験をさせたいのに。安心安全は大事だが、管理しすぎでは。

- ・コミュニティスクールは中学校区でやるそうだが、イメージがわからない。身近な小学校単位でやるのが望ましい。

●食の学校

- ・百条委員会とかいう大きな話になりそうだが、どういうことだったのか。
- ・A 級グルメの効果検証がされていない。子育て日本一も然りで、取り組んだ成果を町民にもちゃんと知らせてくれないと納得できない。

●町民ももっと議会に興味をもつべき。そのために一般質問をケーブルでも、いつでも見れるようにして欲しい。

●道路

- ・あちこち白線が消えていて困る。歳をとると目が薄くなるので、白線が消えていると不安だ。
- ・法面を刈って欲しい。

井原公民館まとめ

●町議会議員について

- ・行財政改革、公共施設の見直しが遅れており、議員によって関心度に温度差がある。
- ・『邑南町の 5 年、10 年、20 年先はどうあるべきか』と言うことを、住民も含めて、特に町議会議員は本気で取り組んで頂きたい。
- ・町議会は、町政執行機関に対応する対等な機関であることを全議員は心得ているのか。勉強会を開いて、おかしいと思うことはしっかりと主張し、住民の意向をくみ、邑南町議会として追及してほしい。

●公共施設について

- ・不必要な公共施設は、処分、解体、民間に譲渡するなどを進めるべきである。
- ・学校の統合は避けては通れない。大胆に断行していくべきであり、邑南町議会としてどう対応していくのか主張してほしい。
- ・町財政はひっ迫している。人口は減り、税収も減ることは目に見えており、早く手を打つ方策を考える必要がある。
- ・町民が無料で使用している施設は有料にすべきである。費用頻度が高い施設を無料にしており、施設を維持するためにも、施設使用料を有料にすべきであり、財産管理もしっかりして頂きたい。
- ・いわみスタジアムの外野には穴があり、選手が怪我をする可能性もある。
- ・フェンスが雪で倒れたままになっており、子どもが怪我をした場合は、誰が責任を持つのか。
- ・ボランティアで整備する考えはおかしい。

- ・公共施設の売却は難しいのではないかと。解体する場合は予算が必要であり進まないのが現状である。上手く進めてほしい。

- ・過疎債に頼ることなくしっかりとした計画を持って進めてほしい。

●圃場整備について

- ・県単事業のほ場整備の補助金制度の対象になるのが法人、または担い手、認定農家しか対象にならない。これから農業を始めようとする一般の方は、補助対象にならない。認定農家になりたくてもなれない、法人をつくることができない、頑張っていこうと思う方には補助金がないことはおかしいのではないかと。

- ・邑南地域のほ場整備をお願いしたい。

- ・町の基準と県の基準が違う。町が事業を知らない例があり、町はもっと勉強して事業を提示し広めていくことが大切である。

●有害鳥獣について

- ・井原地域は、町の有害鳥獣が全て出沒する。捕獲者がいないため、現在は脅すしかない。抜本的な有害鳥獣対策が必要である。

- ・広葉樹は50～60年たっており、針葉樹を植林しても間伐、枝打ちもしていない荒れた山に有害鳥獣は帰らない。山に餌場を作り共存できるような計画的な植林をしてほしい。

- ・今後、放棄地も増え有害鳥獣が増えていく、共存共栄できるモデル地区的な対策を望む。

●集落再建

- ・集落に1軒になった場合、1軒の為に除雪、上下水道の管理が必要となる時代が来る。効率よく管理するためには、住民と話をしながら理解を得てもらうように進めていかなければならないのではないかと。長期計画で今のうちに考えていく必要がある。

- ・中心地に移り住んでもらうための住宅建設や空き家改修を計画的に進めていく必要がある。将来を見越した町政を考えてほしい。

- ・令和の合併が行われた場合、邑南町は中心にはならない。

矢上公民館まとめ

- 矢上七日市地内、町道と浜田作木線との交差点、ごみ置場や立木があり左右の見通しが悪い。事故につながりかねない。対応をお願いする。

- 防災士の要請は、年間4名から5名と聞いている。中央自治会は6名の防災士がいるがこの人数では災害時における対応に危惧している。要請枠を増やしてほしい。本町は女性の防災士が3名いる、女性の観点、立場を考え増やしてはどうか。

- 昨年防犯灯の調査があり、機能していないところがある。その後対応が示されていない。対応をお願いする。

- 矢上高校から寮まで暗いところがある。防犯灯の設置をお願いする。要望は提出している。

- 公共交通おおなんバスに1億3,000万円の予算がついている。この予算で、どのような運行をすれば有効になるのか、精査していただきたい。町民の交通弱者に対して、なに不自由

なく生活できるか考えてほしい。

●11月21日は「竹島の日」です。邑南町で資料の展示等、町民も学習してはどうか。

●人口減少問題をどのように考えているか。

●農業振興について。

・農業をするにしても条件が悪すぎる。

・邑南町の基幹産業、農業で儲かる手立てはないか。農業で食べていけない。

・家族農業に支援策をお願いする。農機具が老化して、更新ができない、農業をやめるしかない。

・子どもがリターンして農業を引き継ぐ施策はあるか。

●鳥獣被害対策について。

●子ども・子育て施策を邑南町はいち早く取り入れた。現在は他の自治体も施策に取り組んでいる。保育料を第1子から無料、小・中学校給食費無償化し邑南町に住んでもらう施策をお願いする。

●保育士不足の解消について。

中野公民館まとめ

【今後の邑南町に望むこと】

●今後、町長が交替すれば、どのように変わるかわからないので、議員の意見を聞きたい。

【施設・道路整備に関する項目】

●中野公民館周辺の整備

・中野体育館入口に照明が無いので、設置してほしい。

・中野体育館の照明が5個程度切れているが、予算が無いとの回答であるが、教育委員会では予算化すべきである。また「直ちに実施する課」の設置も必要と申し入れているが整備されない。

・中野グランド(元は町の総合グランド)は、1基の照明が長期間着かない状態が続いている。

・中野グランドは、原発事故発生時の避難場所に指定されており、照明整備の予算要求を求める。

・グランド周辺の側溝整備も遅れている。

・中野公民館入口の照明が切れている。

●役場庁舎周辺の除草整備

・庁舎周辺・玄関付近には雑草が伸びており、来客者にも悪印象となっている。町長を始め職員は職場の状況を点検し、除草等の整備をすべきではないか。

●町道の除草整備

・石見中学校から、矢上方面への町道は歩道部分がカラー舗装されているが、草刈りが不備で歩道部分に雑草が生い茂り、通行の支障となっている

- ・その他の通学路においても同様の状況がある。
- ・公立邑智病院周辺の除草整備作業がされておらず、整備が求められる。
- 県立自然公園の整備**
 - ・県立自然公園断魚溪の遊歩道、橋の修繕、整備がされていないし、木々が大きくなっており景観が悪い。
 - ・旧段魚いわみ荘の活用はないか。(邑南町社会福祉協議会所有)
 - ・登山道や遊歩道の整備が必要ではないか。
- 有害鳥獣対策**
 - ・近年熊の出没が多いが捕獲実績はどうか、対策が求められる。
 - ・サル対策は捕獲おりの設置等全町規模で、町費で行うことが求められる。
 - ・中野地区と井原地区の間では、駆除用花火で追い払いをするが、サルが一時的に移動することに止まっている。行政で具体的な対策を講じてほしい。
- 農業の担い手対策**
 - ・耕作放棄地を増やさない対策を講じてもらいたい。
 - ・米作以外の生産も必要では無いか、良い情報提供を求める。
- 人口減少対策・自治会の運営**
 - ・人口減少問題に関係するが、地区内で孤独死が発生しているが、限界集落や危機的集落が増加しており、全町における防止対策が求められる。
 - ・自治会の運営や統合については、役員になる人材に限りがあり、特定の人に負担が集中している。
- その他**
 - ・町政座談会の運営が変更され、従来のように要望や意見が言えなくなった。
 - ・遺跡関連の整備が求められる。

日貫公民館まとめ

- 教育委員会**
 - ・矢上にある町有林の木が伐採され石見中学校の改築に使用されている。これらは、昔の人が、将来、日貫小学校の建て替えをする時に活用するために植林されたものである。(学校林)ふるさとの大切な資材が新校舎に使われていることを中学生にも知ってほしい。方法について教育委員会に申し入れてもらえないか。語っていただく人もいなくなる。(今はヤマサキタケシさん)
 - ・11月24日日貫小学校150周年を祝う。学校林の収入を活用して記念誌を発行し学校林のことも掲載する。先人がなぜ学校林を残そうとされたのかも調査する予定。
- 農業**
 - ・産直市に出す生産物の搬送について
 - ・高齢化のため自分で持っていくことが困難になる。その対策についての進捗状況はどう

か。生産者にやさしい対応を!

- ・産直市に地の漬物が出せなくなっている。楽しみにしている利用者、生きがいにしている生産者のためにも、特例を認めるよう他の自治体と共同で国や県に請願をしてほしい。食の学校で作れないか。
- ・農業の担い手不足で、耕作放棄地が増えている。そのため地産地消ができなくなる。
- ・農業をやりたい若者はいる。しかし雇用できる力がない。水田活用などとんでもない。
- ・中山間直接支払い 6 期の方針の働きかけを早めに国に要望してほしい。

● 邑智病院について

- ・受付で、自分の順番になるとモニターに番号が表示される。座る席によってモニターが見えない。患者にやさしい対応を!

● 自治会

- ・日貫地区は自治会を一本化していく方向。規模が小さくなくても仕組みをどう充実させていくか、行政も議会も考えてほしい。

● その他

- ・浄化槽の配管が町道の下を通っている。陥没した場合修理費用はどうなるのか。
- ・山の獣道から町道に石が転がってくる。落石防止はできないか。
- ・意見交換会の日程変更のお知らせが周知されていない。例年より参加者が少ない。